



文部科学省後援 第4回 PDA 高校生即興型英語ディベート全国大会 報告書

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

日程：2018年12月22日（土）、23日（日）

（1日目）予選4試合、（2日目）準々決勝、準決勝、決勝、キーノートレクチャー

会場：東京大学 生産技術研究所 An棟

主催：一般社団法人 パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

共催：東京大学生産技術研究所、公立大学法人 大阪府立大学、

JST 未来社会創造事業「持続可能な社会の実現」領域

『「知」の循環と拡張を加速する対話空間のメカニズムデザイン』プロジェクト

後援：文部科学省、朝日新聞社、朝日中高生新聞、一般社団法人 日本英語交流連盟、

一般社団法人 日本高校生パラメンタリーディベート連盟、全国高等学校長協会

協賛：東京大学生産技術研究所次世代育成オフィス（ONG）

助成：公益財団法人 日本財団、公益財団法人 KDDI

参加校：



（青森県）青森県立青森高等学校、八戸聖ウルスラ学院高等学校、青森県立弘前高等学校、（秋田県）秋田県立角館高等学校、秋田県立秋田南高等学校、（山形県）山形県立山形東高等学校、（栃木県）栃木県立宇都宮東高等学校、栃木県立佐野高等学校、栃木県立宇都宮高等学校、（群馬県）群馬県立前橋高等学校、（埼玉県）埼玉県立浦和高等学校、埼玉県立浦和第一女子高等学校、学校法人開智学園中高一貫部、さいたま市立浦和高等学校、（千葉県）翔凜高等学校、（東京都）渋谷教育学園幕張高等学校、筑波大学附属駒場中・高等学校、明治大学付属明治高等学校、富士見中学高等学校、豊島岡女子学園中学高等学校、東京都立日比谷高等学校、東京都立小石川中等教育学校、東京都立両国高等学校・東京都立両国高等学校附属中学校、渋谷教育学園渋谷中学高等学校、（神奈川県）神奈川県立相模原高等学校、神奈川県立柏陽高等学校、神奈川県立湘南高等学校、神奈川県立厚木高等学校、神奈川県立横須賀高等学校、神奈川県立横浜翠嵐高等学校、湘南白百合学園中学・高等学校、浅野学園中学高等学校、栄光学園中学校・高等学校、（福井県）福井県立藤島高等学校、（長野県）長野県長野高等学校、長野県松本県ヶ丘高等学校、長野県上田染谷高等学校、長野県松本深志高等学校、（岐阜県）岐阜県立岐阜高等学校、（静岡県）静岡県立静岡高等学校（欠場）、（愛知県）愛知県立岡崎高等学校、（滋賀県）滋賀県立膳所高等学校、（京都府）京都府立鳥羽高等学校、京都府立嵯峨野高等学校、京都府立堀川高等学校、（大阪府）大阪教育大学附属高等学校平野校舎、関西創価高等学校、大阪府立北野高等学校、大阪府立豊中高等学校、（兵庫県）神戸女学院高等部、神戸大学附属中等教育学校、（奈良県）奈良県立奈良高等学校、東大寺学園高等学校、（鳥取県）鳥取県立鳥

取東高等学校、(岡山県)岡山高等学校、(山口県)梅光学院中学校・高等学校、山口県立
大津緑洋高等学校、山口県立宇部高等学校、山口県立山口高等学校、(福岡県)福岡県立
城南高等学校、(熊本県)熊本県立八代高等学校、(宮崎県)宮崎県立宮崎北高等学校、
(鹿児島県)志學館中・高等部、(沖縄県)沖縄県立球陽高等学校、創価高等学校
(Swing)、鹿児島情報高校 (Swing 2)

66 校

開催趣旨：

一般社団法人パーラメンタリーディベート人財育成協会(PDA)では、グローバルに活躍する人財育成の一手法として、英語での発信力、論理的思考力、幅広い知識・考え方、プレゼンテーション力、コミュニケーション力などの複数の力を効果的に訓練可能な即興型英語ディベートを推進しています。

本大会では、即興型英語ディベートの普段の練習の成果を試し、全国の高校生と議論を交わすことで、さらなる成長・学習意欲を促すことを目的とします。授業での取り組み成果を発揮できるよう、形式は授業導入可能なフォーマットです。(参照：文部科学省助成事業 <http://englishdebate.org/debate/>)

論題(論題は、毎回ディベート開始 15 分前にはじめて発表されます)：

予選 1：Using private homes as hotels for school trips should be banned.

(修学旅行での民泊を禁止すべきである。)

予選 2：Japan should raise the pension age to 70 years old.

(年金支給開始年齢を 70 歳に引き上げるべきである。)

予選 3：Affirmative action should be taken for female students with science and engineering background.

(理系女子に積極的な優遇措置を与えるべきである。)

予選 4：Accepting more foreign workers will give Japan benefit than harm.

(外国人労働者受け入れ拡大は、日本に害よりも利益をもたらす。)

準々決勝：Sales of potatoes with no poison produced through genome editing technology should be prohibited.

(ゲノム編集で作った毒のないジャガイモは販売禁止にすべきである。)

準決勝：Centralization in urban areas brings more benefit than harm.

(都市集中型社会は、害よりも利益をもたらす。)

決勝：U.S. protectionism does more harm than good to U.S.

(アメリカの保護貿易主義は、アメリカに利益よりも害をもたらす。)

キーノートレクチャー講師：

- 東京大学生産技術研究所次世代育成オフィス 室長/ 教授 大島 まり 氏
- 理化学研究所環境資源科学研究センター・上級研究員 梅基 直行 氏
- ヤフー株式会社 CSO、慶應義塾大学環境情報学部 教授 安宅 和人 氏

1 日目

開会式では、64 チームの参加高校が紹介されました。全国から二日間で日本全国から 400 名を超える高校生・教員・見学者が集まりました。会場は満員となり、熱気に包まれた中スタートしました。大会でのルール諸注意、大会ジャッジまたトレイニーとして参加していた教員や大学生へ向けたジャッジ手順の確認が行われました。



開会式の様子（左：PDA 代表理事・中川智皓による挨拶・説明）

ついに予選が開始されました。64 チームが一斉にディベートを行います。予選 1 の論題は「修学旅行での民泊を禁止すべきである。」です。生徒たちは、中学校や高校での自身の修学旅行の様子を思い浮かべながらアイデアを出していきました。



予選 1 岡崎 vs 柏陽



予選 1 岐阜 vs 上田染谷丘

予選 2 の論題は「年金支給開始年齢を 70 歳に引き上げるべきである。」です。Government も Opposition も少子高齢化などの日本の様々な背景を分析しながら議論を交わしました。年金そのものは昔からある議題ですが、生徒たちは最近のニュースも含め、民法の改正など直近の事例も用いながら深い議論を展開しました。



予選 2 堂々とスピーチをしています



予選 2 POI で質疑応答



予選 2 POI に果敢にチャレンジ



予選 2 ジャッジのコメント

2 試合目と 3 試合目の間にレクチャーが行われました。KDDI 財団鈴木正敏理事長より、高校生への激励が行われました。即興型英語ディベートで培われる力が仕事の上でも重要であることが述べられました。次に、大阪府立大学生命科学研究科 小泉望先生からは、ゲノム編集のレクチャーをいただきました。最近、双子の赤ちゃんがゲノム編集で生まれたことなどホットなトピックでしたが、遺伝子組み換えとゲノム編集の違いなど、基礎的なことから解説いただきました。

また、ご視察いただきました文部科学省より伊志嶺周先生より、ご自身の即興型英語ディベート研修ご参加の経験も含め、本活動の有用性が述べられ、高校生へエールが送られました。



KDDI 財団 鈴木正敏理事長



文部科学省 石志嶺先生



大阪府立大学 小泉教授によるレクチャー



熱心に聞き入る生徒たち

予選3の論題は「理系女子に積極的な優遇措置を与えるべきである。」です。ニュースでも話題になっている医学部の入学試験問題などにも触れながら、女性が現在どのような状況におかれているのかなどについて詳細に分析していました。



予選3 ジャッジの目を見てスピーチ



試合後は笑顔で握手

予選 4 の論題は「外国人労働者受け入れ拡大は、日本に害よりも利益をもたらす。」です。外国人労働者はどのような産業に入っていくのか、どのような問題が起こりうるか、なぜ日本にメリットが発生するのかなどの観点でプレパレーションが進められました。本最終予選ラウンドはクローズ（ジャッジはその場で勝敗を公表しません。結果はコメントシートに記入され、翌日返却されます。）でした。結果は、明日までのお楽しみです。



聴衆にうったえかけるようにスピーチ



最後の力を振り絞って POI !

第 4 ラウンドが終わった頃には、大会開始時には明かった空が真っ暗になっていました。4 ラウンド、全力を出し切った良い顔を見せ、1 日目が終了しました。

翌日の注意事項などの後、e-learning（ディベートのルールなどに関する事前学習）を受けた参加者の中から抽選でクリスマスプレゼントが渡されました。また、参加者が会場を出る直前にサンタが登場！4 ラウンド頑張った生徒・教員・ジャッジの皆さんへささやかなプレゼントが手渡されました。

Merry Christmas! See you next day!



サンタさん登場！

2日目

2日目の最初は、決勝トーナメントに進むチームの発表（Break Announcement）です。昨日の疲れを感じさせず、朝早くから元気な様子で生徒の皆さんが次々と会場に集まってきました。

まずは、ジャッジブレイクの発表です。教員や社会人、大学生によるジャッジは、勝敗を決め、ディベーターである生徒にその理由と個人コメントを、教育的配慮をしつつ論理的に述べます。ジャッジのコメントに対して、どの程度生徒が納得できたか、またどの程度次への学習意欲を高めることができたかという観点で、生徒はジャッジを内容 5 点、表現 5 点満点で評価します。平均点が高かった 21 名の先生方が発表されました。おめでとうございます。

次に、準々決勝に出場するチーム 1 位から 8 位までが発表されました。喜びの音が響き渡りました。

予選結果

- 予選 1 位 翔凛高等学校
- 予選 2 位 栃木県立宇都宮高等学校
- 予選 3 位 長野県長野高等学校
- 予選 4 位 長野県上田染谷丘高等学校
- 予選 5 位 渋谷学園渋谷中学高等学校
- 予選 6 位 浅野高等学校
- 予選 7 位 福井県立藤島高等学校
- 予選 8 位 さいたま県立浦和高等学校

準々決勝の論題は「ゲノム編集で作った毒のないジャガイモは販売禁止にすべきである。」です。出場者が準備をしている間、東京大学生産技術研究所 次世代育成オフィス室長 大島 まり教授による理系分野におけるジェンダー問題（昨日の予選 3 の論題）について解説していただきました。



大島まり氏による予選 3 ラウンド目のテーマについてレクチャー

準々決勝は 4 つの会場で行われました。科学の発展が進んでいけばもしかするといずれ身近な存在になるかもしれないゲノム編集された食物というテーマについて、その危険性や重要性について白熱した議論を行いました。



緊迫した準々決勝の様子

準々決勝終了後は、お昼休みです。午後からのキーノートレクチャー、準決勝・決勝に向けて頭も身体も休める生徒や、準々決勝の論題について友達と議論している生徒がいたりそれぞれの方法で束の間の休息を過ごしました。

昼食後、準決勝進出チームが発表されました。準決勝の論題は「都市集中型社会は、害よりも利益をもたらす。」です。15 分の準備時間の間、理化学研究所 環境支援科学研究センター 上級研究員 梅基 直行氏に準々決勝の論題であったゲノム編集に関するキーノートレクチャーを行っていただきました。



梅基 直行氏によるキーノートスピーチ



白熱する準決勝

準決勝のあとは、いよいよ決勝戦です。決勝の論題は「アメリカの保護貿易主義は、アメリカに利益よりも害をもたらす。」です。色々な国に大きな影響を及ぼすアメリカの貿易政策についての論題でした。3位決定戦も同時に行われました。

また、決勝の準備時間の間に、ヤフー株式会社 CSO 慶應義塾大学環境情報学部教授の安宅 和人氏に、準決勝で取り扱われた論題である都市化の問題に関するレクチャーを行っていただきました。2日間のディベートで疲れているのにも関わらず生き生きとした顔でレクチャーを聞いている生徒の様子が窺えました。



安宅氏によるキーノートレクチャー



緊迫した決勝戦の様子

決勝戦、3位決定戦が終了し、表彰式が行われました。チーム賞、個人賞の授与が行われました。また、文部科学省・外務省後援 第4回 PDA 高校生パーラメンタリーディベート世界交流大会（ワールド कांग्रेस）への出場権を手に入れた学校も発表されました。

文部科学省 第4回 PDA 高校生即興型英語ディベート全国大会結果

<チーム賞>

優勝：福井県立藤島高等学校

準優勝：渋谷教育学園渋谷中学高等学校

第3位：翔凛高等学校

準決勝出場チーム（第4位）：浅野高等学校

準々決勝出場チーム（ベスト8）：

- ・栃木県立宇都宮高等学校
- ・長野県長野高等学校
- ・長野県上田染谷丘高校
- ・埼玉県立浦和高等学校

PDA では、ディベートの強いチーム作りをした学校だけではなく、一般生徒向けに、学校全体で即興型英語ディベートの授業導入された学校を称えます。授業導入賞は、提出された書類やカリキュラムから選ばれました。

<授業導入優秀賞>

- ・大阪府立北野高校
- ・山口県立山口高校
- ・沖縄県立球陽高校

<授業導入賞>

- ・秋田県立角館高校
- ・栃木県立宇都宮東高校
- ・埼玉県立浦和高校
- ・開智学園中高一貫部
- ・翔凩高校
- ・筑波大学附属駒場中・高校
- ・明治大学付属明治高校
- ・東京都立両国高校
- ・福井県立藤島高校
- ・長野県長野高校
- ・長野県松本県ヶ丘高校
- ・長野県松本深志高校
- ・京都府立鳥羽高校
- ・京都府立嵯峨野高校
- ・神戸大学附属中等教育学校
- ・東大寺学園高校
- ・山口県立宇部高校
- ・福岡県立城南高校
- ・熊本県立八代高校
- ・宮崎県立宮崎北高校
- ・鹿児島情報高校

<その他個人賞>（多数、個人名は略）

- ・ジャッジ賞、ベストディベーター賞、POI 賞

以上の結果を受け、第4回PDA高校生パラメンタリーディベート世界交流大会への出場権は、以下の6校に進呈されました。

＜1位～3位＞ 藤島高校、渋谷教育学園渋谷高校、翔凜高校

＜授業導入優秀賞＞ 北野高校、山口高校、球陽高校



優勝：福井県立藤島高等学校



準優勝：渋谷教育学園渋谷中学高等学校



3位：翔凜高等学校



4位：浅野高等学校



ベストディベーター賞



ベストPOI賞

アンケートの声（抜粋）

【生徒の声】

1. 全体の感想
2. 論題、キーノートレクチャーについて

1. 全体の感想

- ・刺激をうけられた。もっと英語能力を上げようと思いました。（横浜翠嵐・2年）
- ・様々な競合協と対戦し、素晴らしいジャッジのおかげで自分谷の改善点を発見できた。（岐阜・1年）
- ・本当に参加した良かったと思いました。この大会では、単なる英語力だけでなく社会の諸問題に対応する力が求められていて、それを意識するきっかけになりました。こういう人が社会で求められているんだろうな、と感じる仲間がたくさんいて刺激になりました。私も頑張りたいです。（山口・2年）
- ・自分たちのディベートを丁寧に講評をいただけたのがとても良かったです。また、レベルの高いディベート実践もみることができて勉強になりました。（秋田南・2年）
- ・本大会は、英語の能力を高めるだけでなく、社会問題について考えたり、知識を深めるきっかけづくりにもなるので、とても良いと思う。（球陽・2年）
- ・自分の考えを改められた。全国の高校生のレベルを知って、同じ学年なのにこんなに社会のことを知っていて、論理的思考ができる子がいることがほんとにびっくりでもっと自分もこれらの力をのばさなきゃいけないと思った。（球陽・2年）
- ・結果的には自分のチームは不本意な結果に終わってしまいましたが、この悔しさをバネに今後も練習をがんばっていきたいと思います。（市立浦和・2年）
- ・学校内では学べないことをたくさん学べて、すごく刺激になったし、より一層頑張ろうと思った。（富士見・1年）
- ・とても学ぶことがたくさんあり、大変面白かったです。（浅野・1年）
- ・普段は無いきんちょう感のもと、POIをたくさん交えた実りあるディベート（技術的だけでなく内容的に）ができた。（豊中・1年）
- ・専門家による講演など身になることが多かった。（上田染谷丘・3年）
- ・全国のレベルの大会高校と試合ができて刺激になりました。（藤島・2年）
- ・全国の高校生と交流できる良い機会だった。強い高校から刺激をうけ、モチベーションが上がった。（佐野・1年）
- ・たくさんの学校の人たちと友だちになれました。ディベートをしていなかったら絶対知らなかったモーションでディベートできた。（宇都宮東・1年）
- ・強豪チームのディベートの運び方だけではなく、なぜこの Motion を与えたのかという意図が知れた。（東大寺・2年）
- ・個人コメントもほうふで、今後のディベートで役立てると思う。（大津緑洋・1年）

- ・英語をたくさん聞き、たくさん話す貴重な機会になった。(相模原・2年)
- ・全国からたくさんの学校が集まっていて、様々な刺激を受けられたので、結果にかかわらず、「これからがんばろう」というモチベーションを得られたのは良かったです。(渋幕・1年)
- ・ディベートを通してたくさんの人と知り合えた。(翔凛・2年)
- ・悔しい結果でしたが、自分の弱点を知ることができ、決勝のチームのディベートなどから学ぶことも多くあり、参加して良かったです！(関西創価・2年)
- ・ディベートをするにつれて自分の考える力などがのびていく感じがして、また、自分の力はまだまだと痛感することができた。(宮崎北・2年)
- ・始まる前は怖かったですが、感じの良い人とあたることができて良かったです。(城南・2年)
- ・全国、いろいろな所とディベートしたり、見ることができ、自分の改善点をみるけることができた。(大教大平野・2年)
- ・ディベートに必要なものは何なのかをととても良く認識することができた。(日比谷・2年)
- ・PDAでは、旬なネタが題材になることが多く、自分で考えたり、試合を聴いて新しい意見を得るのも、とても楽しかったです。スピーチ力を大切にすることが重要で、これからは即興力と共に伸ばしていく力だと学びました。(長野・1年)
- ・全国トップクラスの方々の神々しいスピーチを生で拝聴することができ、とてもためになりました。(長野・1年)
- ・とても、多種多様な考え方のディベートをみれて、認識を拡張できた。(栄光・2年)
- ・他校との交流、素晴らしいジャッジの方にジャッジしていただけたので、コメントやジャッジ理由も納得でき参考になりました。(北野・2年)
- ・4試合連続でやるのは中々ハードでしたが、とても楽しかったです。ジャッジの方を評価するシステムも良いなと思いました。(厚木・2年)
- ・全国大会に出場が叶い、ハイレベルな大会に参加できたこと、多くの出会いと学びを得てきたこと、自分にとって大きな糧でした。(膳所・2年)
- ・昨年も参加させていただいて、この一年での自分の成長を感じることができた。他の学校の交流やキーノートレクチャーを通して良い刺激を受けた(奈良・2年)
- ・多くの友達ができました。スピーチも紙を見ずにできるようになったので、嬉しかったです。(神戸大附属・2年)
- ・試合が終わったあとの少しのフリータイムでディベートのことなどや学校のことで他校との交流ができたこと。(八戸聖ウルスラ・2年)
- ・他の学校の強さに圧倒されました。言い方、表現の工夫の仕方、迫力、全てがレベルが高く、とても勉強になりました。また、レクチャーを通して、自分が気付かなかったポイントも出てきて、ためになりました。(柏陽・1年)

- ・普段聞けないお話をたくさん聞けたことが良かったです。ジャッジの先生方のお話が、新しい発見や自分の良い所を知る非常に貴重なお話で、感動しきれないほどでした。
(松本深志・2年)
- ・見学でも、他校のレベルの高いディベートを観たり、キーノートレクチャーを聞いたり、学ぶものが多くて良かったです。(県立浦和・1年)
- ・関西の人たちと話す機会がなかなか持てないので、交流ができてとても良かったです。(県立浦和一女・1年)

2. 論題、キーノートレクチャーについて

- ・ゲノムとか詳しく知らないことを文系の私にも分かりやすくレクチャーして下さいました。(嵯峨野・2年)
- ・どの論題も、今の現代のことに関係していて、まだまだ知らないことがたくさんあったので、もっと社会の出来事について知っていきます。(嵯峨野・2年)
- ・大会前に、新聞を見ていて、出るだろうと予測していた論題が出て、うれしかった。
(堀川・2年)
- ・どれも面白かったです。プレパの時間にやるというのも、眠くなることなく丁度いいタイミングだなと感じました。(両国・2年)
- ・ゲノム編集や、理系女子への支援など、身近な題があり、興味深かった。(湘南白百合・1年)
- ・ジャガイモにゲノム編集が結びついた理由について知ることができて良かったです。
(長野・2年)
- ・偏りがなく、いろいろな観点に触れていたのもおもしろかったです。(奈良・2年)
- ・安宅先生のお話に、心を大きく震わされました。「未来は目指すものであり、創るもの」というお言葉を胸に秘め、自分の目標を実現させていきます。(山形東・2年)
- ・貴重なお話を聞くことが出来て、あまり知らない分野についても詳しく知ることができました。また、モーションの予想にも役立ちました。(湘南・2年)
- ・タイムリーな論題が多くておもしろかったです。(湘南・2年)
- ・専門的なことをわかりやすく、そして自分がそのテーマについて考えるきっかけを作ってください、とても有意義な時間でした。(山口・2年)
- ・論題を出されたときに思いつきもしなかったメリット・デメリットを知ることができた。(秋田南・2年)
- ・(論題が) ひねくれてなくて良かったです。(小石川・1年)
- ・論題が広範囲におよんでいて、よく考えられていました。(上田染谷丘・3年)
- ・短時間に多くの情報を教えていただき、とても勉強になりました。これから自分はどう勉強したりすればよいか考える良い機会になりました。(開智・2年)
- ・短い時間の中でいろいろなお話が聞けて良かったです。(豊島岡・1年)

- ・いずれも難しく、またその分野に興味を持たせてくれて考えさせるレクチャーで面白かった。(東大寺・2年)
- ・ゲノム編集のレクチャー・講演が、ディベートに関係なくもともと少し興味があったのもあり、とてもおもしろかった。(鳥取東・2年)

【教員の声】

1. 全体の感想
2. 論題、キーノートレクチャーについて

1. 全体の感想

- ・引率として初めて参加しました。評判通りで、白熱した大会を生で見られて良かったです。(福岡県立城南・教員)
- ・英語力だけでなく、人が気持ちよく聞ける、また相手にいやな思いをさせない道德心や人間力がやはり必要だと改めて感じる事ができた。(大津緑洋・教員)
- ・モーションが良かったです(翔凜・教員)
- ・ディベートを通じて社会について考え、また専門家の方々からのレクチャーによってそれらを深めることができ、とても勉強になりました。他校の生徒さんや先生方との交流もでき、とても楽しかったです。(八代・教員)
- ・スムーズな運営でした。暇な時間がなく、充実しており大変勉強になりました。(山形東・教員)
- ・教員としてジャッジの向上もが必須と思い、また生徒が一試合ごとに成長し他校さんとうりゆうできたことに感謝するばかりです。(湘南白百合・教員)
- ・3・3・2分とは思えないほど、密度、レベルが高くて、英語教育もここまで変わってきたと実感しました。(小石川・教員)
- ・いつも同様、各所に教育的配慮があり様々な生徒にとって“有意義な学びの場”となる素晴らしい大会だったと思います。(富士見・教員)
- ・スムーズに運営されており、とても良かったと思います。(ウルスラ・教員)
- ・ラウンドごとにぐんぐん吸収して力をのばす姿もみられて感動しました。(教員)
- ・見学者を増やしていただけると嬉しいです。素晴らしい大会ですので、他の生徒にも勉強させたいです。丁寧で綿密に練られた運営のもと、とてもたのしくディベートを拝見しました。2日間の大会が成功したのも、運営のみなさまのおかげであると思います。(佐野・教員)
- ・PDA ディベートで目標とするところを具体的な実践を通して知ることができた。(岐阜・教員)

- ・キーノートレクチャーで貴重なお話を聞くことができ、今後の教員としての働き方を考えさせられた。また、多くの高校生のスピーチをきくことで、彼らのモチベーションの高さとやる気に感動し、教員も一緒になって学んでいきたいと思った。(教員)

2. 論題、キーノートレクチャーについて

- ・短い時間の中でも重要なことが簡潔にまとめられ、高校生にもわかりやすい形で伝えられていて、本当に感謝しております。(青森・教員)
- ・勉強になりました。学校でのディベートの際も、関連ある教科の先生にお願いして、解説してもらおうと思いました。(八代・教員)
- ・Keynote lecture による論題解説は、今後パーラをする上でとてもよい知見や事例を与えてくださったと思います。(栄光・教員)
- ・年金問題は高校生には実感わきづらかったことと思いますが、将来関わってくる問題となりそうなので、このような機会に考えさせ、今後の意識につなげられるので、そういう意味では良い議論であると思います。(膳所・教員)
- ・3名の先生方とも、論題に即したレクチャーで興味深く聴かせていただきました。特に大島先生のご講演はすばらしかったです(奈良・教員)
- ・1日目、ゲノム編集と遺伝子組み換えの違いがわかりやすくもっとこの分野について知りたいと思いました。(見学・教員)
- ・時事問題、タイムリーな物が多く、英語ディベートということでなくとも、考え、見方にふれて、良い機会でした。(浦和一女・教員)
- ・多岐にわたる分野から出されていたのでよかった。(山口・教員)
- ・大会に多様なプログラムがあって良い。知識の吸収がしやすい。(開智・教員)
- ・安宅さんのレクチャーが濃かったです。大人の生き方の指針になります。(教員)

以上

第4回 PDA高校生即興型英語ディベート全国大会（予選結果）

2018年12月22日（土）・23日（日）／ 東京大学 生産技術研究所

Ranking	Place	Name	Win	Sum	Ranking	Place	Name	Win	Sum
1	1st	翔凜	4	175	37	37th	関西創価	2	144
2	2nd	宇都宮	4	172	38	38th	大津緑洋	2	141
3	3rd	長野	4	147	39	39th	膳所	2	139
4	4th	上田染谷丘	4	147	40	40th	創価	2	133
5	5th	渋渋	3	187	41	41th	嵯峨野	2	132
6	6th	浅野	3	183	42	42th	梅光	2	132
7	7th	藤島	3	182	43	43th	豊中	2	130
8	8th	県立浦和	3	172	44	44th	岡山	2	121
9	9th	湘南	3	166	45	45th	城南	1	160
10	10th	厚木	3	161	46	46th	県立前橋	1	159
11	11th	筑駒	3	160	47	47th	横浜翠嵐	1	155
12	12th	柏陽	3	158	48	48th	開智	1	144
13	13th	相模原	3	156	49	49th	東大寺	1	144
14	14th	志學館	3	152	50	50th	湘南白百合	1	143
15	15th	県ヶ丘	3	150	51	51th	浦和一女	1	139
16	16th	岐阜	3	150	52	52th	佐野	1	138
17	17th	栄光	3	148	53	53th	大教大平野	1	137
18	18th	宇都宮東	3	148	54	54th	秋田南	1	135
19	19th	富士見	3	147	55	55th	明治	1	133
20	20th	神戸女学院	3	135	56	56th	八代	1	132
21	21th	神戸大学附	2	179	57	57th	宇部	1	130
22	22th	両国	2	165	58	58th	ウルスラ	1	127
23	23th	渋幕	2	164	59	59th	弘前	1	124
24	24th	北野	2	164	60	60th	青森	1	107
25	25th	市立浦和	2	164	61	61th	球陽	0	119
26	26th	日比谷	2	161	62	62th	宮崎北	0	118
27	27th	横須賀	2	159	63	63th	鳥取東	0	110
27	27th	山形東	2	159	64	64th	角館	0	109
29	29th	堀川	2	157	Swing2 鹿児島情報				
30	30th	松本深志	2	156	欠席 静岡				
31	31th	岡崎	2	153					
32	32th	豊島岡	2	149					
33	33th	小石川	2	148					
34	34th	奈良	2	147					
35	35th	鳥羽	2	146					
36	36th	山口	2	145					